



旭市

第44号
2017年1月15日

編集発行
社会福祉法人
旭市社会福祉協議会
旭市横根3520番地
TEL.0479 (57) 5577
FAX.0479 (57) 2836
URL www.asahi-shakyo.jp
e-mail:asahi-shakyo@
cpost.plala.or.jp

社協だより



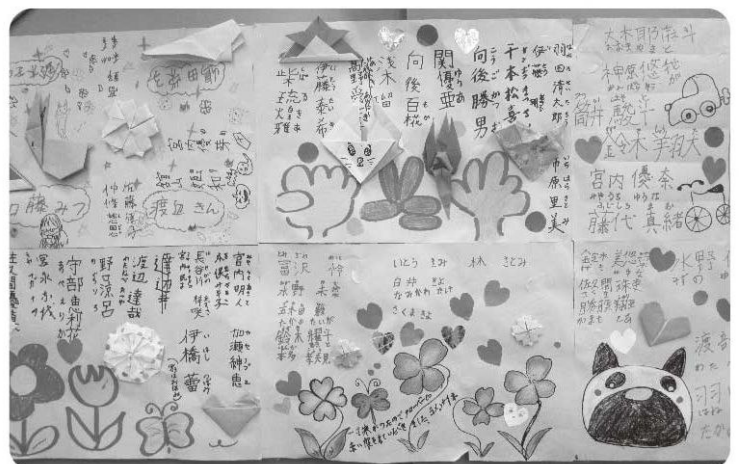
飯岡小学校の3年生がデイサービスを訪問

10月13日と11月16日の2日間に分けて、飯岡小学校の3年生が、授業の一環としてデイサービスに遊びに来てくれました。

1回目は、グループに分かれて、折り紙を折ったり、おはじきやかるたをして、お年寄りと交流をしました。

2回目は、元気いっぱいのソーラン節の踊りや、たて笛の演奏を聴かせてくれるなど、盛りだくさんでした。

子供たちの訪問に、デイサービスの利用者やスタッフも、子供たちから沢山の元気パワーをいただくことが出来ました。



お年寄りと子供たちと一緒に作った手作りポスターです！

謹んで年頭のご挨拶を 申し上げます

社会福祉法人 旭市社会福祉協議会
会長 埴 政 美



市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、旭市社会福祉協議会の運営に多大なご支援とご協力をいただき、誠に有り難うございました。

特に、『第12回旭市社会福祉大会』は、市議会議員、区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ボランティア連絡協議会、16地区社会福祉協議会、福祉教育推進機関など各種団体のご賛同とサポートにより、900名を超える皆様方のご参加をいただき、福祉功労者と小中学生の福祉作文入選者の表彰、最優秀賞の琴田小6学年・手島里緒さんの作文の発表などで、式典を盛大に開催することができました。

基調講演は、新潟産業大学経済学部准教授で、24年間北朝鮮に拉致されていた『蓮池 薫』先生をお招きし、『夢と絆』というタイトルで体験を通した憤り、何とも言えないもどかしさ、拉致というものが被害者から何を奪ったのか、北朝鮮の生活や帰国時の心の葛藤など、大変貴重なお話を伺うことができました。

また、去年は、熊本や鳥取中部の大地震、阿蘇山や桜島の噴火、台風10号による被害等々、気象・地象・自然災害が余りにも多く発生しています。このようなことから、市民の皆様には、東日本大震災を決して忘れることのないように、防災・津波・火災・ボランティアセンター設置などの

各訓練には何度でも参加をしていただき、大規模災害に備える必要があると思っております。

さて、ご承知のように近年における少子高齢化の急速な進展や核家族化に伴い、家族や地域の『支え合い』が崩れ、認知症・ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯がさらに増加する傾向にあり、しかも、今の公的制度では対応できない生活支援や社会的孤立、貧困等の新たな生活課題が顕在化し、福祉を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。

こうしたことへ対応するためには、公的な制度に基づく福祉サービスや支援だけではなく、16地区社協の各種事業、ボランティア活動、本会（社協）の各種事業などへご参加いただき、地域の人たちとふれあい、顔見知り関係になっていただき、『お互いに支え合う地域の仕組み作り』を進めていくことが大切だと思います。

地域社会で支援の必要な方が、住み慣れた地域で暮らしていくことができるように、人間関係のもとに地域住民が気付き、市や社協の専門職員などと協働する支援体制を整えていきたいと思っております。

本年も『健やかでやすらぎのあるあるまちづくり』のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

おたっしゃ会



今年も10月26日(水)にヒューマンプラザ黄鶴にて「おたっしゃ会」を開催しました。当日は132名の方々が出席され、園児の歌や踊り、舞踊などを鑑賞しながらの会食となりました。

社協会長の「皆さん、おたっしゃですか?」の挨拶も恒例となりましたが、来年も変わらず、皆さまお元気でお会いできることを社協職員一同、願っております。



大勢の方が出席されました!

おたっしゃ ですか〜?



明智忠直市長から参加者の皆さんへの労いと、これからも元気に頑張ってくださいと、エールをいただきました。

かんぱーい!!



平野忠作議長から、人間は120歳まで!? 生きられることを聞かされ、驚きのあまり会場がどよめいていました。



子供たちから手造りのプレゼントが配られました。



ボランティア連絡協議会の「露都の会」の皆さんによる舞踊のお披露目がありました。舞踊の他にも頭の体操として、参加者の皆さんと一緒に歌を歌ったり、手遊びを楽しみました。



海上保育所の18名の園児による歌やお遊戯を楽しみました。



子供たちは表情豊かに元気いっぱい踊ってくれました。たくさんの拍手をもらって嬉しそうでした。



ボランティアの皆さんをはじめ、最後はみんなで恒例の大漁節を踊り、おひらきとなりました。



「小さな親切」
運動旭市支部
活動等紹介
コーナー

「小さな親切」運動の活動紹介

【日本列島コスモス作戦】

昨年同様に「小さな親切」運動旭市支部では、地域の美化活動を推進するために、シンボルフラワーであるコスモスの種子を4月に各学校へ配付したほか、飯岡保健福祉センターの花壇にビオラの花を11月29日に植えました。今回は、花数がかなり少ないのですが、施設利用者の皆様には、綺麗な花壇を見て頂き少しでも心が和まれることを望む一助になれば幸いです。

なお、今年度は6月24日にも花壇の手入れをお願いしましたので、2回目の活動となりました。また、今回もボランティアグループ「やよい会」の皆様5名に、ご協力を頂きまして有難うございました。



入選者2名、おめでとうございます!

【第41回「小さな親切」作文コンクール】

「小さな親切」作文コンクールは、昭和51年にスタートして、今年で第41回を迎えました。

当コンクールは作文の技術力だけでなく、親切を受けて感動したり、親切ができなくて後悔した素直な心の表現を評価するコンクールです。旭市支部内では、2名が入選されましたので、ここでは作文のタイトルのみ紹介いたします。

学校名・学年	氏名	タイトル	ホームページ公開予定
旭市立滝郷小学校 4年	松ヶ谷 陸	「ぼくの学校」	H29.1.10(火)～
旭市立豊畑小学校 4年	井上 夢菜	「親切のお返し」	H29.1.16(月)～

※井上さんは、2年連続で入選されました。

※本文を読みたい方は、公益社団法人「小さな親切」運動本部のホームページで、順次掲載されておりますのでご覧ください。なお、本事業は運動本部が実施しておりますので、全国の応募総数47,529編(小学生: 12,181編・中学生: 35,348編)で、入賞入選者が130名でした。入選100名のうち、小学生の部は50名が入選されました。

第12回

社会福祉大会開催

11月19日(土)に東総文化会館大ホールにて、「第12回社会福祉大会」が盛大に開催されました。

地域福祉に貢献された方々へ、感謝状や表彰状の贈呈、また市内小中学校の福祉作文の入賞者の表彰や、最優秀作文の発表を行いました。

当日は、拉致被害者でもある、蓮池薫さんをお招きして記念講演を行いました。蓮池さんのお話しに興味を持たれた大勢の方が来場され、皆さん興味深く話を聞かれていました。ホールも大勢の人で埋め尽くされて、大盛況のもと終わることが出来ました。

受賞された方々は次の通りです。(敬省略)

市長感謝状

No.	氏名	代表者
1	NEXUS(株) D'ステーション旭店	星野敏



会長感謝状

役員功労

No.	氏名
1	石毛 はる子



市長感謝状を受け取る
NEXUS(株)D'ステーション
旭店さま

篤志寄付功労

No.	氏名	代表者
1	飯嶋三郎兵衛	
2	日華化学(株)	江守 康昌
3	日蓮宗千葉県東部宗務所	富永 観瑞
4	合同歌謡会	平野 和三郎
5	新みのり会	常世田 栄
6	銚子商工信用組合信友会	星野 健
7	ハーレーダビッドソン モーターサイクルクラブ ZERO ONE MC	小関 勝弘
8	飯岡舞踊会	佐久間 智恵乃
9	マミー商会	宮内 正己

会長表彰

役員功労

No.	氏名	No.	氏名
1	吉野 政治	5	渡邊 明
2	江崎 誠	6	仲條 とよ子
3	伊藤 和男	7	遠藤 義道
4	山田 秀幸		

ボランティア功労

No.	氏名	No.	氏名
1	高山 由紀子	4	田村 政子
2	石橋 純子	5	辻内 良子
3	三浦 正章	6	さくら会

篤志寄付功労

No.	氏名	代表者
1	あさひ舞踊会	花園 千名美
2	(株)ステップ	今関 慎治
3	旭市文化協会美術部	篠塚 益治
4	旭市文化協会芸能部	来栖 利雄
5	歌謡旭クラブ	増田 清一



受賞された
代表者の
皆さんです。

社会福祉作文入賞者

小学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	手島 里緒	旭市立琴田小学校 6年
2	優 秀	高坂 咲希	旭市立豊畑小学校 5年
3	〃	伊藤 百花	旭市立共和小学校 5年
4	〃	小堀 祐菜	旭市立萬歳小学校 5年
5	〃	増田 瑠那	旭市立萬歳小学校 6年
6	〃	島田 知穂	旭市立古城小学校 6年
7	佳 作	井門 果歩	旭市立中央小学校 5年
8	〃	岩井 寧々	旭市立中央小学校 6年
9	〃	大久保 結奈	旭市立干潟小学校 6年
10	〃	加瀬 滯奈	旭市立三川小学校 5年
11	〃	向後 結空	旭市立飯岡小学校 6年
12	〃	林 聖響	旭市立古城小学校 6年

中学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	山中梨紗子	旭市立第一中学校 2年
2	優 秀	渡辺菜緒	旭市立第二中学校 1年
3	〃	大岩咲帆	旭市立第二中学校 1年
4	〃	向後紗那	旭市立海上中学校 1年
5	佳 作	宮内千莉	旭市立第一中学校 3年
6	〃	飯田恵視	旭市立第二中学校 1年
7	〃	丸山楓乃	旭市立飯岡中学校 1年





受賞された
小学生の
皆さまです。



受賞された
子供たちは
少し緊張されて
いました。



足元が悪い中、大勢
の方々が蓮池さんの
講演を聞きに来てく
だしました。



社会福祉作文の紹介をします



小学生の部

自分にできること

旭市立琴田小学校 第6学年
手島 里緒さん

私の学校は、上学年の総合学習時間に、「トモダチ作戦」という高齢者の方とふれ合う体験をします。

四年生の時は、高齢者施設に行きました。その施設は、家族の方が忙しく、一人では身の周りのことが難しい方が多く来ています。そこに来ている方を元気にしようと私たちが落語をしたり、自分たちで作った折り紙をプレゼントしたり、たくさんお話もしました。始めは笑顔がなく、お話をしてくれなかった方も、少しずつ素敵な笑顔で話しかけてくれ、元気づけるどころか、気付けば私の方が元気づけられていました。

五年生の時は、学区に一人で住んでいる高齢者の家を訪問しました。家族がいなく、一人で暮らしているので、すごさみしそうにしているのかなと思っていました。しかし、実際に会ってみると、どの方も、「来てくれてありがとう」と、明るく元気な声で返してくれ、少しほっとしました。メッセージ付きのお花と手作りのコースターをプレゼントすると、とても喜んでくれ、プレゼントを作ったり、訪問して話したりしてよかったなど、やりがいを感じました。

この二つの体験をし、もっと人に役に立つことはないのだろうか、もっとたくさんの人を元気にし、笑顔にしたと思うようになりました。

私は家族や親せき、友達など身近の周りの人を元気づけるためには、どうしたらよいのか考えました。そこで、私ができることは、友達が困っていたり、悲しんでいたりとしたら、手を差し伸べることだと思いました。私の友達に、何か困ったことや悲しいことが起きたり、ケンカしたりした時に、一人でかかえこんでしまう子がいます。そんな時にそばにいてあげたり、聞いてあげたりすれば、その子の負担は減り、少しでも元気づけてあげられることができるのではないのでしょうか。私もいやなことや悲しいことがあり、自分をきらいになったり、いやになったりした時、支えてくれたのは友達や家族でした。友達や家族が支えてくれたおかげで、誰かに頼ることの良さに気づき、とても心が軽くなったことがあります。

このように、互いに支え合っていけば、たくさんの人達の将来が明るく、楽しいものへと変わっていくような気がします。大人になったら、今よりも多くの人と出会い、友達の輪も広がっていきます。私は、自分の大切な人達はもちろんですが、周りにいる人が辛い思いや悲しい思いをしていたら、一早く気づき、助けてあげたいと思います。そして、今の私にできることは、友達や家族など、今まで私を支えてきてくれた人たちを今も、これからも、大切に思い続けていくことだと感じました。

中学生の部

「福祉」とは何か

旭市立第一中学校 第2学年
山中 梨紗子 さん

最近、福祉に関連したニュースや問題が多く発生していると思います。また、私もニュース番組をテレビで見て、感じていました。しかし、まだ知らないことや疑問があるので、実際に調べてみました。まずは、福祉についてです。私は、夏休み中に福祉のお仕事を体験させていただくので、福祉という言葉をよく聞きますし、自分でもよく発している言葉です。しかし、私は福祉とは何か、と聞かれたら正直なところ、分からないと思いました。福祉とは、『「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉であり、すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念を指す』と書いてありました。この意味を理解して、二つのニュースについて考えていきたいと思えます。

今年の7月26日未明、神奈川県の高齢者支援施設で殺傷事件が発生しました。私も朝のニュース番組を見て知りました。初めて知ったときは、怖いと感じました。高齢者支援施設の職員や入居者は何も悪いことをしていないのに、突然男の人が侵入してきたら、どれだけ恐ろしかったか想像するだけで怖いし、これから先の事件とともに生きていく人はきっとつらいと思います。そして、この事件がもう二度同じことが起きないようにと私は強く願っています。

もう一つは、パラリンピックのことです。今年は、四年に一度のオリンピックが行われる年です。パラリンピックとは、国際パラリンピック委員会が主催する障がい者スポーツ最高峰の大会のことです。今年新たに加えた種目カヌー、トライアスロンを含む22種目が行われる予定だそうです。私は、テレビでしか見られませんが、一人一人が全力で練習や努力を積み重ねたものをこの場所で全て出し切って挑んでいる姿に毎回感動して、勇気をもらい、障がい者が輝ける最高の舞台だと思います。また、今年も頑張ってくださいと心から応援したいと思います。

このような二つのニュースを通して、私達は「障がい者」とどう向き合うべきか、考える必要があると思います。私は「障がい者」と向き合うときには、いつも笑顔であることを忘れずに普通に接することを心がけています。時には、「障がい者」を差別してしまうこともあります。できる

ことやできないことが、限られている中で何でも手伝ったり、気を遣いすぎたりしてしまうことがありました。しかし、そのことを改めて考えてみると、障がい者にとっては逆効果なのかもしれません。私が知らないところで、きっと人一倍頑張り、一つでも一人のできることを増やそうとしていることに気づきませんでした。それから私は、少しでも福祉に関係することをしたいと思いました。その中で一年の時に福祉委員になって、募金の呼びかけを行う活動を経験し、初めて高齢者や障がい者のために役立つことができ、うれしく感じました。また、今年の夏休み中に職場体験学習で福祉施設に体験させていただくので、福祉について多くのことを学べるように高齢者や障がい者に積極的に話しかけて一人でも多くの人を笑顔にできたらいいなと思います。そして、体験を積み重ねながら、障がい者の人達のことを少しでも理解して、おたがいを分かり合えたらうれしいです。

誰もが住みよい社会にするために、私達にできることは、小さな優しさです。例えば、高齢者の荷物を持ってあげることや、車イスに乗っている人の代わりにボタンを押してあげるなど、日常生活の様々なことに障がい者や高齢者は困っていると思います。しかし、困っている人を助けるには勇気が必要です。私も困っている人を助けたことがないので、言える立場ではありません。だから私は、困っている人を助けることのできる人になりたいです。

また、私は将来、福祉関係の仕事に就きたいと思っています。学んだことを将来の夢につなげていきたいです。そして、人と接することで自分の経験値を上げて、弱い自分から少しでも成長できるように精一杯頑張りたいと思います。



お知らせ

旭市社会福祉協議会臨時職員を募集します

職 種	募集人数	応募期限	身分	採用予定
事務職(受付及び施設管理等) ※週5日勤務(土・日・祝日休み)	1名	3月10日(金)	臨時職員	4月3日(月)

応募要件／普通運転免許取得者
勤務場所／社会福祉法人旭市社会福祉協議会
提出書類／履歴書(写真添付)

【申込み先】

〒289-2712 旭市横根3520番地(飯岡福祉センター)
社会福祉法人旭市社会福祉協議会 ☎ 57-5577
※待遇等詳しくはお問い合わせください。

第3回 男の料理教室を開催します!

今回は野菜たっぷりの餃子を作ります。
ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

日 時 : 平成29年1月24日(火)
場 所 : いいおかユートピアセンター
メニュー : 野菜たっぷり餃子
参加対象 : 市内在住男性
参加費 : 500円
定 員 : 20名
持 ち 物 : エプロン・三角巾など
申 込 先 : 旭市社会福祉協議会(57-3133)



電話での受付時間 **AM8:30~PM5:15**
(土曜・日曜・祝日は除く)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

ご寄付ありがとうございました

12月10日までに、次の方々から社会福祉協議会へ寄付をいただきました。心温まる浄財は有効に使わせていただきます。ありがとうございました。(敬省略・順不同)

- (株)ステップ
- 旭民謡会
- 歌謡旭クラブ
- 秀花歌謡教室
- 飯岡舞踊会
- あさひ舞踊会
- マミー商会
- 飯岡手あみ講座
- 宮カラオケ友の会
- かあちゃん市組合
- 海上歌謡虹の会
- 日華化学(株)
- 薄田 豊

歳末助け合い街頭募金にご協力ありがとうございました。

12月4日(日)にボーイスカウト千葉県連盟旭第2団の皆さまが、道の駅「季楽里あさひ」と、カインズホーム旭飯岡店で募金活動を行いました。

集まった募金は、「歳末助け合い募金」として、市内の援護世帯や施設の見舞金として分配します。ご協力ありがとうございました。

また、募金にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。皆さまの善意は大切にさせていただきます。



平成28年度 成年後見制度研修会を開催します!

県民や福祉関係者を対象に、お笑い芸人のトークや弁護士による解説を通して、分かりやすく成年後見制度の概要や職務を伝え、制度の利用促進や周知を図ります。

- 日 時** 平成29年3月12日(日) 13時00分~16時05分
- 会 場** 千葉市生涯学習センター2階ホール(JR千葉駅東口又は北口から徒歩8分)
- 定 員** 300名(申込先着順) **参加費** 500円(資料代) **締め切り** 平成29年3月3日(金) 必着
- 申 込** 申込書をFAXかE-mailで送信(定員を超えた場合のみ事務局から連絡します。なお、参加券は発行しません。)
- 申込書記布場所** 各社会福祉協議会、各市町村行政等。
千葉県弁護士会、千葉司法書士会、千葉県社会福祉士会、千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会のHPからもダウンロードできます。
- 申込・問い合わせ先** 〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉協議会千葉県後見支援センター
TEL:043(204)6012 FAX:043(204)6013 E-mail:smile@chibakenshakyō.com